

日本キリスト教会信仰の告白（口語文）

わたしたちが主とあがめる神のひとり子イエス・キリストは、真の神であり真の人です。主は、神の永遠の計画にしたがい、人となって、人類の罪のため十字架にかかり、完全な犠牲をささげて贖いをなすとげ、復活して永遠のいのちの保証を与え、救いの完成される日までわたしたちのために執り成してください。

神に選ばれてこの救いの御業を信じる人はみな、キリストにあつて義と認められ、功績なしに罪を赦され、神の子とされます。また、父と子とともにあがめられ礼拝される聖霊は、信じる人を聖化し、御心を行わせてくださいます。この三位一体なる神の恵みによらなければ、人は罪のうちに死んでいて、神の国に入ることはできません。

旧・新約聖書は神の言であり、そのなかで語っておられる聖霊は、主イエス・キリストを顕らかに示し、信仰と生活との誤りのない審判者です。

教会はキリストのからだ、神に召された世々の聖徒の交わりであつて、主の委託により正しく御言を宣べ伝え、聖礼典を行い、信徒を訓練し、終わりの日に備えつつ、主が来られるのを待ち望みます。

古代の教会は、聖書によって次のように信仰を告白しました。わたしたちもまた、使徒的信仰の伝統にしたがい、讚美と感謝とをもってこれを共に告白します。

〈以下、使徒信条〉

わたしは、天地の造り主、全能の父なる神を信じます。

わたしは、そのひとり子、わたしたちの主、イエス・

キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、処女マリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、陰府にくだり、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父なる神の右に座しておられます。そこから来て、生きている者と死んでいる者とを審かれます。

わたしは、聖霊を信じます。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン

主の祈り

天にまします我らの父よ、
願わくは御名をあがめさせたまえ。
御国をきたらせたまえ。
御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。
我らの日用の糧をきょうも与えたまえ。
我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、
我らの罪をも赦したまえ。
我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。
国とちからと栄とは、
限りなく汝のものなればなり。アーメン



←礼拝ライブはフェイスブックから

週報はホームページにも掲載→



礼拝 毎日曜 午前10:10より
日曜学校 毎日曜 午前9:30より
祈り会 毎水曜 午前10:30より
午後6:30より

*牧師との面談を希望される方はご連絡下さい。



週報

2021. 1. 10.

わたしたちは、真理に逆らつては何をする力もなく、真理にしたがえば力がある。

(1954年改訳Ⅱコリント13:8)

日本キリスト教会

札幌豊平教会

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条3丁目5-15
電話 (011) 811-6838

送金には、郵便局から振替口座をご利用ください。
振替02790-7-9082

口座名義：日本キリスト教会札幌豊平教会

メール toyohirachurch@jcom.home.ne.jp
HP <https://www.ccjtoyohira.com/>
北海道中会ホームページ <http://nikki-hokkaido.net/>

招きの言葉：イザヤ45：23

わたしは自分にかけて誓う。わたしの口から恵みの言葉が出されたならば、その言葉は決して取り消されない。わたしの前に、すべての膝はかがみ、すべての舌は誓いを立て、恵みの御業と力は主にある、とわたしに言う。

讚美歌 21-26

聖書 使徒言行録7：1～8 (新p224)

祈り

説教 「神の約束」 牧師稲生義裕

讚美歌 21-356

献金

主の祈り

頌栄 21-29

祝祷

アーメン三唱

後奏 (聴いた御言葉と派遣されて行く者としての理想を覚えて、各自黙祷を)

きょうの聖書

- 1 大祭司が、「訴えのとおりか」と尋ねた。
- 2 そこで、ステファノは言った。「兄弟であり、父である皆さん、聞いてください。わたしたちの父アブラハムがメソポタミアにいて、まだハランに住んでいなかったとき、栄光の神が現れ、
- 3 『あなたの土地と親族を離れ、わたしの示す土地に行け』と言われました。
- 4 それで、アブラハムはカルデア人の土地を出て、ハランに住みました。神はアブラハムを、彼の父が死んだ後、ハランから今あなたがたの住んでいる土地にお移しになりましたが、

- 5 そこでは財産を何もお与えになりませんでした、一步の幅の土地さえも。しかし、その時、まだ子供がなかったアブラハムに対して、『いつかこの土地を所有地として与え、死後には子孫たちに相続させる』と約束なされたのです。
- 6 神はこう言われました。『彼の子孫は、外国に移住し、四百年の間、奴隷にされて虐げられる。』
- 7 更に、神は言われました。『彼らを奴隷にする国民は、わたしが裁く。その後、彼らはその国から脱出し、この場所で、わたしを礼拝する。』
- 8 そして、神はアブラハムと割礼の契約を結ばれました。こうしてアブラハムはイサクをもうけて八日目に割礼を施し、イサクはヤコブを、ヤコブは十二人の族長をもうけて、それぞれ割礼を施したのです。

今週の集会

- ・本日 礼拝後 12:00 1月定期小会
- ・13日(水) 10:30 オンライン祈り会
- ・14日(木) 10:00～14:00 弁当作り下ごしらえ
- ・15日(金) 12:30 食堂は閉鎖 9:00 弁当作り 11:15～外国人留学生・路上へ、バプテスト札幌聖公会札幌への運搬と手渡し 12:30～教会前
- ・16日(土) 10:00 キリスト教信仰オンラインQ&A

今週の牧師の予定 (上記以外)

- ・14日(木) 10:30 児童相談所・里親会事務局会議 午後食材授受 18:00～韓国民主化運動オンラインセミナー

次主日の予告 (2021年1月17日) 聖餐執行

- 礼拝 降誕節第4主日礼拝 (ライブ配信)
- 聖書 使徒言行録7：9～16 (新p224)
- 説教 「祝福の糸は断たれず」
- 讚美歌 21-28, 355, 81, 24
- 女性会総会は延期。時期を見計らって行います。

報告

- ・3日の礼拝出席 14名、献金 9,420円・高校生以上の集い:休止
- ・祈り会 I：2 (ライブ準備)、II：休止
- ・8日(金)とよひら食堂：130食(教会前34+4、礼バプ40、聖公30、外国0、ボラ5食12名)大通17食。
- ・キリスト教信仰Q&A：休止

お知らせ

《2020年度主題》

『他者と共に、他者のために～食でつながる心と命～』
聖書 使徒言行録2：43～47

小会は、2月7日開催予定の定期総会の準備に入っています。最も重要な作業は、不自由な中で過ごした2020年を振り返り、主イエスキリストを頭とする共同体としての歩みであったかと、主の御前に検証を行うことです。その上で、2021年の歩む道を調べて参りたいと願っています。個々においても御自

新型コロナウイルス感染症対策 (小会)

12月27日(日)午後の臨時小会では、1月3日以降の主日礼拝も、当面現在の方針で行うこととしました。コロナウイルス変異種が、国内にも入っている事による状況の変化を見定めるためです。

一方、長引く礼拝参加自粛がもたらす心身への影響も大変に心配な点です。牧師の訪問は基本的には差し控えますが、自粛をなさる方々には電話などで連絡をとらせていただきます。

祈り会・キリスト教信仰Q&Aについては、対面とリモートを合わせるなど工夫を施しながら、再開準備に入り、今週には再開の見込みです。

この間、お互いに孤立をしないよう、させないよう、電話・メールなどで連絡を保ち支え合いましょ。近隣の散歩や室内での運動など、体を動かしてお過ごしください。